取扱説明書　プラグイン形信号変換器　TRP-K1 シリーズ

外形図と端子図は、仕様書(資料名：T-35081 SS-TRP-K1 シリーズ)をご覧下さい。

このたびはタケモトデンキの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用いただく前に下記事項をご確認下さい。

●梱包内容

・変換器（本体＋ソケット＋入力抵抗器、冷接点センサ）...各 1
　ただし、入力抵抗器は電流入力時にのみ付属、冷接点センサは熱電対入力のとき付属。

●形式

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペックラベルで形式と仕様を確認して下さい。

ご注意事項

●電源定格

許容電圧範囲：スペックラベルおよび仕様書でご確認下さい。

●取付、取外し時の取扱い

危険防止のために必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置条件

・屋内でご使用下さい。

・腐食性ガス、塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計の筐体に収納し、放熱対策を施して下さい。

・振動、衝撃は故障の原因となる恐れがあるため極力避けて下さい。

・周囲温度が-10～+60℃を越える場所、周囲湿度が30～90 % RH を越える場所、結露する場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますから避けて下さい。

●配線経路について

・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（動力線、リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。

・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納したりしないで下さい。

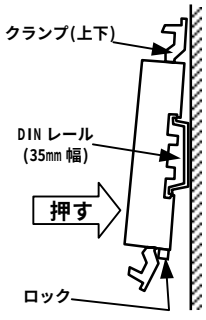
取付方法

本体とソケットを分離するときは、ソケットの上下にある黄色いクランプを外して下さい。

●DIN レール取付の場合

ソケットはロックのある方を下にして下さい。ソケット裏面の上側フックをDIN レールに掛け、下側を押して下さい。

取外す場合はマイナスドライバなどでロックを下に押下げ、その状態で下側から引いて下さい。



●壁取付の場合

仕様書の外形寸法図により取り付けて下さい。

接 続

各端子の接続は、仕様書または本体の結線ラベルを参照して行って下さい。

入力抵抗器や冷接点センサが付いている場合は、入力配線と共締めして下さい。

点 検

①端子接続図の通りに結線されているか確認。

②供給電源の電圧は正常か確認。
　電源端子間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。

③入力信号は入力レンジ内か確認。

④出力信号の負荷を確認。
　負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

校 正

本器をご注文時の仕様通りにご使用されるときは、校正の必要はありません。定期点検その他で校正が必要なときは、下記の手順に従って下さい。

■校正方法

本器の基準精度に見合った十分な精度を持つ信号発生器および測定器を使用し、電源投入後10分以上経過してから行って下さい。

①模擬入力信号を0 %相当値に設定し、ZERO調整トリマで出力を0%に合わせます。

②模擬入力信号を100%相当値に設定し、SPAN調整トリマで出力を 100 %に合わせます。

③再び、模擬入力信号を0 %相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。

④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰返して下さい。

保 証

本器は、社内検査を経て出荷されておりますが、製造上の不備による故障、または輸送中の事故、納入後1 年以内の正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。